①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・2とびの数え方や，整数を2で割ったときの余りが0と1だけであることを理解している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・条件によって分けたり，同じものの集合を

つくったりする学習をしている。

≪学習問題≫

赤組と白組に分かれて野球の試合をします。**赤**１ ３ ５ …

カードをひいて，カードの番号で，右のよ　**白**２ ４ ６ …

うにして組になります。11　12のカードをひいた人は，赤組と白組のどちらに入りますか。その理由を説明しよう。

教材研究ノート№5-A-3

≪定着・活用問題≫

主眼

≪学習問題≫



授業計画･実施記録

②見通し: どうやって赤組と白組に分けているのかわからない。

→白組は2の段で赤組は2の段ではない数になっている。

②学習課題：2で割り切れるかどうかを表や数直線を使って確かめ，赤組と白組はそれぞれどんな数の集まりか調べよう。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

③個人追究：整数を2でわり切れるものとわり切れないものに分け，赤組と白組のまとまりの数を説明する。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「赤組と白組の分け方からどんなことがわかるかな？」

→「整数は，2でわり切れる数とわり切れない数の2つに分けられる。」

「10＝2×5　11＝2×5＋1（2でわるとあまり1）。」

→「数直線では1つおきに並んでいるので，1ずつ違う。」

④共同追究後半（思考を深める）

「整数には，偶数と奇数しかないのかな？」

→「2でわるとわり切れるときと余りが1のときになる。」

「　　　　　　　　　偶数＋1＝奇数　奇数＋1＝偶数。」

・

・

・

・

・・●

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・・●

・・●

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・1の位が2でわり切れるかわり切れないかで奇数と偶数がわかる。

・整数は，奇数と偶数のどちらかに分けられる。

⑥定着･活用問題

(1)偶数より1大きい数は，偶数ですか，奇数ですか。奇数より1大きい数はどうでしょうか。

(2)偶数どうしの和はいつも偶数になるでしょうか，奇数になるでしょうか。右の図を使って説明しましょう。

　 奇数どうしの和，奇数と偶数の和は，それ

ぞれどうなるでしょうか。差についてはどう

なるか説明しましょう。

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・偶数と奇数について，2でわり切れる数とわり切れない数を見つけさせるだけではなく，数直線上に偶数と奇数が交互にならぶことに気付かせ，整数全体が2つの集合に分けられることを視覚的にとらえられるようにする。

・表，図，数直線などを効果的に使って，偶数と奇数の見分け方や偶数(奇数)どうしの和や差，偶数と奇数の和や差について説明し，整数が2つに類別できるよさや性質を明らかにさせたい。

【板書計画】